

市民のみなさんの環境に対する取組

本市では、美しいまちづくりを目指して、ボランティアグループなど各種団体による自主的なごみ拾い活動や、自治会等の団体による地域の清掃美化活動が行われています。今回はその一部を紹介します。

アダプトプログラム

アダプトプログラムとは…

市民と行政が協働で進めるまちの美化活動です。アダプト (adopt) は「養子にする」という意味で、公園や道路等の公共の場を養子に見立て、市民が里親となって公共の場の清掃等の美化活動を行い、行政がこれを支援する取組です。本市では「きれいにするっちゃ山陽小野田」という名称のアダプトプログラムを展開しており、現在 28 団体が登録し活動しています。

活動内容

安全ニコニコ隊 (目出新町)

約 5 年前から、歩道の美化と子どもたちの見守り活動をしています。毎日 2 回、子どもたちの登下校に合わせ、県道の落葉などの掃除や、沿道の花壇への水やりをしながら、「行ってらっしゃい」「お疲れ様」と声をかけます。以前には、中学校卒業を前にした生徒が、「この道をこれからは通らなくなりますが、今までありがとうございました」と挨拶に来てくれたそうです。

隊員さんの声

「お互いに励まし合いながら活動しています。通学路をきれいに保つために、また、子どもたちに挨拶ができる人になってほしいという思いで活動していますが、中高生や警察の方、地域の人から声をかけてもらい、逆に元気をもらっています」



海岸の清掃活動

活動内容

市快適環境づくり協議会と市自治会連合会が 5 月 11 日、焼野海岸で漂着ごみ等の回収・清掃作業を行いました。この活動は、美しい景観を守るために、同会が市内各地の海岸で毎年行っているもので、今回は竜王中学校の生徒 63 人を含む約 200 人が参加。漂着物など、可燃ごみと不燃ごみを合わせて約 230 kg ものごみを回収しました。



やけの美タフェスタ清掃活動

活動内容

7 月 17 日にきららビーチ焼野で開催された「やけの美タフェスタ 2022」。企画の一つとして、美しい自然を大切に作る心を育んでもらおうと「ごみひろい選手権」が行われました。小中学生や大人など、合わせて 93 人が参加し、集めたごみの重さで順位を競いました。この日は、ビニールごみやプラスチックごみなど、軽トラック 1 台分のごみが集まりました。



アダプトプログラム「きれいにするっちゃ山陽小野田」に参加しませんか？

個人または団体で、自ら美化活動を行う区域を決め、申込書を市環境課またはふるさとづくり協議会に提出します。市はその土地の管理者および地元自治会の承諾をもらい、支援事業として、保険加入、清掃道具(ごみ袋、ほうき、ちりとり、火ばさみ等)の提供、清掃で出たごみの収集を行います。

詳しくは環境課(☎ 82-1143)までお問い合わせください。

